

文教委員会 副委員長を拝命しました！

6月11日(火)に開催されました文教委員会において、副委員長を拝命いたしました。
まちづくりは人づくり、人づくりはまちづくり！
2年間、志高く活動して参りたいと思います。

文教委員会は、8名の委員で構成され、教育委員会の所管に属する事項について、調査及び議案等の審査を行います。

活動報告

(抜粋してのご報告になりますが、ご了承ください。)

◆学校運営協議会委員を委嘱されました。

平成23年度からコミュニティスクール準備委員会で協議、視察を行いながら、準備を進めて参りましたが、

4月18日(木)、尾道市立向東小学校がコミュニティスクール(学校運営協議会制度)の指定を受け、指定書交付式が開催されました。

学校運営の基本方針を承認するなど、一定の権限と責任を持ちますので、

『地域は学校のために、
学校は地域のために！』をスローガンに
地域や保護者の方々のニーズを迅速かつ的確に学校運営に反映させ、
より良い教育の実現に取り組んで参りたいと思います。



- ◆4月 7日(日) 平成25年度向東町肥浜地区定時総会
区長として再任されました。
- ◆5月28日(火) 尾道市公衆衛生協議会 環境指導員を委嘱(再任)されました。
- ◆6月11日(火) 尾道市議会第2回定例会
～25日(火)
- ◆7月21日(日) 第11回おのみち100km徒歩の旅
保護者事前研修会で講師を務めました。
- ◆8月 6日(火) 第11回おのみち100km徒歩の旅で団長を務めました。
～10日(土)
- ◆8月21日(水) 広島県東部ブロック市議会研修会《府中市》に参加しました。
- ◆9月10日(火) 尾道市議会第3回定例会
～25日(水)

【柿本和彦後援会】

〒722-0062 尾道市向東町3301-1
Tel・Fax兼用(0848)41-9315 Fax(0848)44-6829
メールアドレス: info@k-kakimoto.com
ホームページURL: <http://k-kakimoto.com/>
ブログURL: <http://blog.k-kakimoto.com/>
ご意見等がございましたら、お気軽にお寄せください！



愛と志で誇りある未来を創造しよう！

かきもと かずひこ

柿本和彦後援会 会報 VOL.08

編集: 柿本和彦後援会

平成25年10月 5日発行

成功体験に囚われず、失敗体験に怯えない！

大学の研究室の先輩である前刀禎明(さきとう よしあき)さんが本を出版されました。iPod miniを大ヒットさせた方で、最近ではテレビにも出られています。その書籍の中に、“本当の失敗とは？”ということが書かれていました。それによると、本当の失敗とは、失敗だと気づいたあと、

- ①何もせず、ただ時間が過ぎるのを待つ
- ②失敗から何も学ばない
- ③一度や二度の失敗で挑戦するのをやめてしまう

この3パターンだけで、

これ以外は、すべて自分の資産になる、成功に転じる可能性を秘めている、ということです。

今年の夏も多くの小学生や中学生、大学生と過ごす機会をいただきましたが、彼らを含め、日本の将来を担う多くの若者たちには、成功のチャンスを逃さず、失敗に向き合って行動してもらいたいものです。

地方自治体の人材開発！

『民間企業に比べて、市役所の職員は・・・』といった会話をよく耳にします。2年半ほど、身近で観させていただいて、最も民間企業との違いを感じる点は、研修制度のあり方や進め方です。

図書館や本屋に行けば、たくさんの研修に関する書籍や資料がありますが、それらは、民間向けのものなのでしょうか！？
それとも、民間にも行政にも通じるものなのでしょうか！？

私も多少、研修に携わった人間として、いろいろと考えてみますと、ほとんどの研修に関する書籍は行政(公務員)には向いていないように思われます。更言うならば、公務員向けの研修は、あまり研究がされていないように思います。

もちろん、知識の習得やスキルアップという観点では研修が実施されていますが、人事制度を含め、人材開発はまだまだ発展途上にあるように思います。

30年余り前から始まった“管理”に関する科学的な分析手法などを観ても、民間企業は直ぐに導入し始め、1980年代の職場ではQCサークルが花盛りでした。PDCA、いわゆる管理サイクルも20年前には当たり前になりましたが、行政は10年ほど前にようやく導入を始めました。

同様に考えると、行政が人材開発に力を入れ始める時期も遠くないのかもしれませんが、個の力が組織の力として発揮されるよう、しっかりと見守って参りたいと思います。

柿本和彦の活動報告

《2013（平成25）年4月～9月》

研修報告

◆ 会派（誠友会）で、4月22日（月）～23日（火）、
地方議員研究会主催による人事制度の問題点セミナーに参加しました。

初日のテーマは、“人事評価”で、

○形骸化している人事評価

○効果的に給料に反映するには

○公務員にとっての目標管理とは、能力評価とは

について、関西学院大学・経営戦略研究科教授の山中俊之さんより、
レクチャーを受けました。

人事評価については、自治体が抱える人事上の課題を明らかにすると共に、
人事評価の目的を再確認しました。

そして、評価制度設計段階の課題として、

人事評価の評価者と被評価者の設定、

1次評価・2次評価、その調整方法などを学び、

人事評価制度運用面の課題として、

面接の技能向上をはじめ、さまざまな課題があることを学びました。

また、給与への反映では、

勤勉手当と昇給、能力評価と業績評価など、

人事評価の形骸化を防ぐ手法を学びました。

業績評価につながる目標管理では、

“トップが本気になる”という運用ポイントが印象的でした。

2日目はテーマは、“人材育成と問題職員の分限処分”で、

○問題職員を辞めさせる分限処分

○人材育成が進まないのはなぜか

○異動と研修のポイント

について、初日同様に山中俊之さんより、レクチャーを受けました。

分限処分の実施の方法や分限処分を巡る判例など、
目からうろこの話もたくさんありました。

また、自治体職員の昇格の方法や理想の選抜方法、

自治体職員の異動とキャリアパスについても学びました。

特に、キャリアパスについては、人材育成とも合わせて、

職員のキャリアの複線化を目指した人事管理は、

強い組織を創っていく上で、重要なポイントだと思いました。

6月定例会一般質問要旨

『柿本和彦の重点目標』を中心に23点、質問をいたしました。

1. 未来へつなぐまちづくり～協働のまちづくり出前講座について～
 - (1)協働のまちづくり出前講座の「メニュー」を市民目線で精査し、
広報を工夫して活用を促進してはどうか。
 - (2)協働のまちづくり出前講座の開催時間をどのように考えているか。
2. 未来へつなぐまちづくり～小学校での英語教育の現状について～
 - (1)英語活動をスムーズに効果的に実施するためのALTの派遣は、どのような実態にあるか。
 - (2)現在採用しているALTは、日本語をどの程度習熟しているか。
 - (3)ALTと担任の先生はどの程度、いつ打ち合わせをしているか。
 - (4)英語活動に対して、児童の声や保護者の声をどのように把握しているか。
3. 未来へつなぐまちづくり～中学生交流事業の充実について～
 - (1)各中学校から選抜された生徒によるリーダー研修会は、どのようなプログラムで実施されているか。
また、そのプログラムはどのように評価され、翌年以降に精度アップされているか。
 - (2)リーダー研修会に地域防災マップの作成プログラムを取り入れる考えはあるか。
4. 未来へつなぐまちづくり～尾道市独自による少人数学級の実現について～
 - (1)5人以下学級の効果について、どのように認識しているか。
 - (2)小学校において、35人以下学級とチームティーチングや習熟度別指導などの少人数指導との違いは
どこにあると考えるか。
 - (3)尾道市内の公立小学校において、採用後10年未満の教員の割合はどの程度か。
 - (4)尾道市内の公立小学校において、尾道市として独自に35人以下学級を導入した場合、
学級数は何クラス増えるか。
5. 人をつなぐまちづくり～民生委員児童委員補佐制度について～
 - (1)前回の改選期において、尾道市内における民生委員児童委員の定数は揃っていたか。
また、現在はどうか。
 - (2)前回の改選期の候補者選定において、市民の声はどうだったか。
また、今年の改選期の候補者選定はどのように予想しているか。
 - (3)民生委員児童委員協力員制度を導入する考えはあるか。
6. 地域をつなぐまちづくり～尾道港内の渡船実態について～
 - (1)4月以降の尾道港内渡船の利用について、調査をしているか。今後、調査をする計画はあるか。
 - (2)尾道大橋につながる道路の渋滞状況は把握しているか。
 - (3)渡船の利用促進を図るため、
例えば、特に渋滞が激しい帰宅時間帯に渡船を使用する自動車での利用者に対して、
尾道市がクーポンを発行して助成を行う考えはあるか。
7. 地域をつなぐまちづくり～サイクリングロードの整備について～
 - (1)しまなみ海道に続き、向島の周回道路、また、それにリンクする戸崎、浦崎の海岸線を
ナショナルサイクリングロードとして推薦する考えはあるか。
 - (2)現在、進められている向島周回道路の整備状況、また計画はどのようになっているか。
8. 地域をつなぐまちづくり～安全・安心な住環境を脅かす廃屋対策について～
 - (1)現在、尾道市に入っている情報で、いわゆる廃屋と思われる建造物は何件程度あるか。
また、それらの情報は、いつ頃、入手したのか。
 - (2)そうした情報に対して、指導や助言など、どのような措置を取っているか。
また、そうした措置にも拘らず、解決していない原因はどこにあるか。
 - (3)今後の方向性として、財政支援、行政処分等、条例制定を含め、対策を取る考えはあるか。